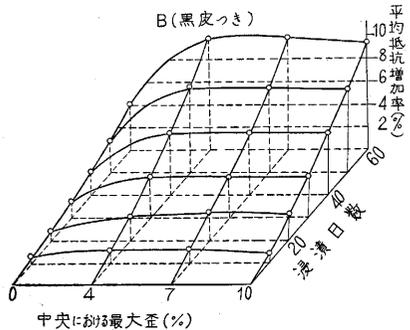
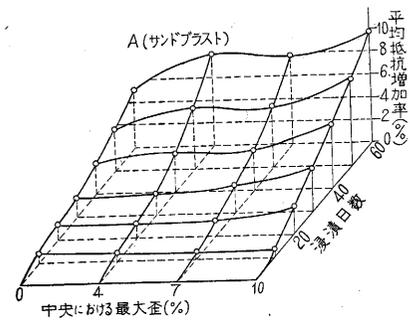


第3図 測定例

である。同一試験片内における歪の大きい部分と小さい部分の腐食率は余り変わらないといえる。

そこで全区画の平均腐食率を採って中央の最大歪と日数をベースにして図示すると第4図が得られる。黒皮を除去したものでは船底凹損によって生ずる程度の僅かの歪ではほとんど腐食に影響がなく、7%程度以上の歪があるとその影響が急に大きくなっている。黒皮つきのものでは僅かの塑性歪が存在しても腐食率が急増しているが歪がさらに増加しても腐食率はほとんど変わらない。こ



第4図 平均腐食率

れは大小に関らず歪によって黒皮が破れるということが大きく影響するものと考えられる。要するに歪の有無またはその大小よりも、黒皮の有無が腐食におよぼす影響が最も大きいことがわかる。

この実験は日本造船研究協会第16研究部会の船底凹損に関する研究の一部として行ったものである。

(1956. 10. 6)

表紙説明

熔鋸炉の煉瓦積みは、一般に稼働している商業用炉においては、7年から10年に1度しかない。金森研究室の実験炉では、操業実験のために、炉体を解体して、内部の点検を行うので、必ず毎回煉瓦積みを行う。表紙の写真は普通羽口の孔が下方に2個見られ、その上方の四角い黒い孔は炉内試料を取る孔である。普通羽口以下に炉床湯溜り部があるのであるが、工事の途中で煉瓦層等が下方へ落ちないように、棚がかけられているので普通羽口下面に炉底のような面が見られるのである。この煉瓦の外方にさらにシャモット煉瓦、断熱煉瓦等を張り、鉄皮で締めるので、その完成後が右上の写真である。

次号予告

(1月号)

研究解説

- 1 トン試験高炉用コークスの粒度に.....金森研究室
- ついて
- 拡張誤差函数, 拡張ガンマ函数.....安達 芳夫
- 接合型トランジスタの誘導性アドミ.....尾上 守夫
- タンス 後川 昭雄
- 放射性ガラス砂による漂砂の追跡実験.....加藤 正夫

研究速報

- 地下発電所内における地震観測資料.....岡本 舜三
- 清宮 勝行
- 久保田 広
- 田村 稔
- 写真銀粒子の粒状性について.....大頭 仁

正 誤 表 (11月号)

頁	段	行	種別	正	誤
表2		下5	目次	サンプル値制御の応用	サンプル制御の応用
3	右		第7図	(天地, 逆)	
4	右	下3	文 献	P. I. R. E.	P. I. E. E.
10	左	4	本 文	(グリッド電流 3×10^{-15} amp)	(グリッド電流 3×15^{-15} amp)
"	"	"	第1表	Vitorean Instr. Co.	Vitorean Instr. Co.
"	"	下1	本 文	規格値	規定値
"	右	8	"	$\sim 10^{-15}$ amp	$\sim 15^{-15}$ amp
11	"	7	"	$\leq 10^{-14}$	$\leq 10^{14}$
"	左	22	"	プレート電流)	(プレート流波
"	右	下6	"	(規格値 50ma	(規格値 50 mm)
13	左	第7図	(図中の説明)	$E_p = 10.5$	$E_g = 10.5$
"	"	第8図	(")	I_{gmax}	I_{gman}
"	右	第9図	(")	$I_f = 8am$	$I_j = 8ma$
"	"	"	"	縦軸, 下段に I_g が	(脱落)
表3	左	8	ニュース	5キロ離れた	15キロ離れた